
無色無心

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無色無心

【コード】

N16160

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

自分を壊したかった…でも僕は存在している。

(前書き)

絶望・悲壮・破壊願望、そんな中で生きていくのが嫌になった僕の
話。半分以上本当の話。

何も見えなかった。
何も聞こえなかった。
何も言いたくなかった。
何も感じなかった。
ただ無になりたかった。
ただ無に帰してしまいたかった。
自分を壊したかった。
汚い自分を壊したかった。
嫌いな自分を壊したかった。
死んでしまいたかった。
自分を殺してしまいたかった。
そして自分を殺そうとした。
自分を壊そうとした。
死んでしまおうとした。

皆は言う「死にたい時ってどんな気持ち？」

答えは明確単純だ。

無心。

無色。

ただ、ただ、壊そうとするだけ。

ただ、ただ、壊れようとするだけ。

ただ、ただ、自分が嫌いになっただけ。

僕は生きている。

僕は存在している。

もう自分を壊したいとは思わない。

もう自分を殺したいとは思わない。

もう死にたいとは思わない。

何故なら…。

何故と言われたら…。

そんな僕に涙を流してくれる人がいるから…。

こんな僕の為に涙を流してくれる人がいるから…。

そんな人達の心を壊したくないから…。

そんな人達の心を殺したくないから…。

僕は、生きて行く。

生きて行く時にも、無色無心で。

無色無心の精神で。

(後書き)

本当は、まだ、たまに自分を壊したいと思う事もある。けど……。
だから、薬で治療中。

これも病気なんだよ。

みんな、これも病気なんだよ。

だから……。大切な人に涙を与えてはいけなйдらう？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1616o/>

無色無心

2010年10月13日12時01分発行